

令和4年度 第1回学校運営協議会（記録）

日 時 令和4年6月24日(金) 14:00～16:00
場 所 大阪府立堺上高等学校 校長室

出席者 【委 員】 会 長：比嘉 悟 桃山学院教育大学副学長
副会長：井関 雅 堺市立上野芝中学校校長
委 員：岡田 浩治 大崎工業株式会社総務部長
委 員：中尾 友彦 中尾食品工業株式会社代表取締役社長
委 員：岩本 吉伸 堺上高等学校 PTA 会長

【事務局】 校 長：中川 明子
教 頭：大窪 成人
事務長：中田 博之
首 席：澤山 紀子 (生徒会部長)
首 席：藤田 祥弘 (1年学年主任)
教 諭：瀬角 明宏 (教務部長)
教 諭：菅 直美 (進路部長)
教 諭：北野 謙悟 (生徒指導部長)
教 諭：平井 栄一 (総務部長)
教 諭：徳庄 正幸 (保健部長)
教 諭：利光 はるみ (教育情報部長)
教 諭：小田原 剛 (2年学年主任)
教 諭：北 晃 (3年学年主任)

内容

1. 開会の挨拶【校長】

本校の校長として3年目を迎えました。春の遠足、授業参観、全学年揃っての体育大会など、学校行事が3年ぶりに予定通り実施することができています。日々の授業やクラブ活動で頑張っている子どもたちの姿を見て、やはり生徒あつての学校だと改めて感じています。

さて、委員の皆様には平素より本校の学校運営にご支援とご協力を賜りありがとうございます。比嘉様、中尾様、岩本様には今年度より新しく委員になっていただきました。委員の方々の任期は2年となっております。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

2. 自己紹介、委員長選出【教頭】

要綱第13条により会長及び副会長を置く

○会 長 ⇒ 比嘉 悟 様

○副会長 ⇒ 井関 雅 様

3. 授業見学

4. 報告

(1) 学校状況報告・学校経営計画について【校長】

- ・この春の入試選抜では、定員240名のところ志願者が269名でした。「行きたい学校」として認識していただいていることをありがたく受けとめて、より良い学校づくりをしたいという思いを新たにしています。また、出口保障としては、大学進学、就職、専門学校等、どの進路に対しても対応できるカリキュラムと充実した進路指導で、進路未決定者が非常に少ない学校となっています。就職に関しては100%内定をいただける状況が11年続いています。
- ・今年度の学校経営計画は、本校の教育方針をめざす学校像として3本に、中期的な目標を5項目にまとめ、実態にそったものになっています。昨年度、新設した教育情報部及び授業研究委員会を中心に、教育の情報化や授業改善を組織的に進めています。私からは今年度の重点と、スクール・ミッションについて説明させていただきます。

- ① 確かな学力の定着においては、1人1台の生徒端末を活用しながら対話的な視点に基づく学習活動ができるよう、工夫ある教科指導による授業づくりに取り組んでいます。今年の1年生から新学習指導要領が実施され、観点別学習状況評価となります。教員同士が互いに切磋琢磨しながら同僚性を活かした授業改善を推進していきます。
- ② 部活動が活発になってきました。今年の1年生の入部率が55.7%となり、運動部、文化部とも盛んに活動を行う学校となってきています。本校が近隣の中学生をお招きして開催する「堺上高杯」を6月にバレーボール、バスケットボールの部を実施しました。8月にはサッカー、ソフトテニスの部を予定しており、現在、中学校にご案内をさせていただいているところです。
- ③ 来年、40周年を迎えます。生徒の状況も随分変わってきました。多くの生徒が学校の教育活動に前向きに取り組んでいます。今年度、社会や地域の実情を踏まえ、本校の存在意義や魅力を再確認し、本校の「スクール・ミッション」を改めて策定することになりました。学校運営協議会の委員の皆様にもご意見を頂戴しながら進めていきたいと思っています。

(2) 首席より

① ICTの活用と授業改善について

今年の1年生より新カリキュラムが始まり、観点別学習状況評価が導入されました。中学校はもう始まっていますが、教員も試行錯誤しながら授業づくりに取り組んでいます。来週の水曜日から期末考査が始まり、1学期の成績をつける準備をしているところです。私も数学の教員ですが、主体的で対話的な授業づくりに挑戦しています。生徒1人1台の端末を活用し、まずは自宅で数分の解説動画を見て学習し、その内容をグループで互いに教え合って、課題に取り組むといった授業を行いました。生徒たちの授業に対する感想は良く、互いに教え合うことで、深い学びが実現できたような気がします。グループワークの内容を生徒自身が端末に打ち込んでクラスで共有したり、端末を活用して小テストをしたりと、多くの教員が生徒1人1台端末を活用した授業実践に取り組んでいます。教員より生徒の方が慣れるのが早い、という印象を受けています。今年度は、生徒の端末を活用して「協働的な学びの実現」をめざし授業研究を行っています。水曜1限を授業研究の時間とし、授業研究委員会のメンバーによる「互見授業」を設定し、生徒の学習活動に関する課題や授業改善策などを協議し同僚性を活かした授業改善を図っているところです。

② 広報活動について

去年からHPの更新頻度増やすようにしています。クラブの実績や各学年・分掌からのお知らせなども掲載しています。学校説明会もHPでの申し込みを行うようにしました。想像以上にHPを見ていただいていると感じました。案内を出していない中学校からも学校説明会の申し込みがあります。HPを見て情報収集されているのでしょう。今年もHPの更新頻度を高めていきたいと思っています。本校での説明会の他に、進学フェア・合同説明会が3年ぶりに開催されます。教職員一同頑張っていきたいと思っています。

(3) PTAの活動状況について【総務部長】

5月20日にPTA総会を対面にて開催しました。総会後は学年ごとに交流し、その後、進路研修委員会、文化委員会、広報委員会の3つの専門委員会に別れて今後の活動について話し合いました。進路研修委員会では10月に実施する1日研修について、文化委員会は文化祭のPTA喫茶と11月の文化教養講座について、広報委員会は夏のPTA新聞について協議を行いました。特に文化祭については、ここ2年間の行動制限で保護者の皆様に参加してもらうことができませんでしたが、今年度は3年ぶりの参加で委員の方々には、とても意欲的に活動していただき感謝しています。月1回の頻度で実行委員会及び専門委員会を開催しています。

(4) 新カリキュラムと教科書について【教務主任】

今年の1年生から新しいカリキュラムが導入され科目名も随分変わりました。評価方法も3つの観点ごとに分析的に評価することになりました。授業のスタイルや指導方法も改善し、生徒主体の授業

となるよう工夫をしています。また、教科書選定一覧表の通り、教科書も大きく変更しています。テーブルに実物がございます。本校の生徒にあった教科書を使いながら授業を進めていけたらと思っています。

(5) 1 学年の生徒状況について【1 年学年主任】

とても元気な生徒たちです。4 月の新入生歓迎会では、上級生から学校生活について話をしてもらいました。これまでにないほど雰囲気がよく、その結果、クラブの入部率も高くなりました。春の遠足は、信貴山のどか村にバスで行きました。BBQ とクラスレクの大縄をし、クラスの親睦も深めることができましたかと思います。体育大会は午前中だけでしたけど楽しんできたかなと思います。ただ、SNS の関係でしょうか、人間関係が入学前に出来上がってしまうという傾向があります。いざクラス発表になったらすでに友達ができているのでもうグループに入れたい、学校に行きづらいといったことが当初にありました。学校もひとつの社会です。学校生活を通して社会性や人間関係を築いていって欲しいと願っています。

(6) 2 学年の生徒状況について【2 年学年主任】

2 年生も年度当初は、クラス替えや環境の変化に対応できずに精神的に不安定になる生徒もいましたが、SC や SSW の方の協力も得ながら学年だけでなく学校全体でサポートする体制で対応しています。修学旅行は沖縄本島に 3 泊 4 日で 11 月の最後の週に行く予定です。民泊も大人になってしまうとできないことなので、この機会にやらせてあげたいと思っています。また、全体で集まってレクリエーションなんかもできたらなと思っています。

(7) 3 学年の生徒状況について【3 年学年主任】

新型コロナウイルスの影響を最も受けた学年ですが、今年は学校行事が予定通り順調に開催され、とても落ち着いた生活を送ることができています。3 年生になって進路開拓に気持ちが向きはじめ、授業も落ち着いた状況で、受けることができています。今年 18 歳を迎え、成人となります。教員との人間関係も築くことができ、大人になりつつあるなど、成長を感じている次第です。現時点での進路志望は、4 年制大学・短期大学合わせて約 70 名、専門学校が約 75 名、看護医療・公務員志望が約 30 名、就職が約 35 名となっています。進路未定、自己開拓という生徒も約 5 名います。適切なアドバイスを行い、進路実現に向け、支援していきたいと思っています。進学希望の生徒には去年の夏から進路特別講習をスタートしました。難関といわれる大学を目指し、教員の一緒になって頑張っているところです。

(8) 進路状況等について【進路指導部長】

この春卒業した 36 期生の進路結果です。例年に比べますと進学者が増えました。特に 4 年制大学を希望して進学する者がこの 5 年間で上昇しています。社会情勢の影響や就職活動が厳しいと言った状況からか、進学希望者が増えたように思います。公募推薦や A0 入試といった小論文や面接を利用して、進学先で何を学びたいかといったようなことをアピールする入試を使った合格者が一昨年度よりも増えた印象です。それも大学の方でなるべく早く入学者を確定したいという影響も相まっての結果のようです。37 期生の状況は、学年主任より説明があった通りです。今年度も進学希望者が増えていきます。それに伴って予約奨学金を申し込む生徒が現時点で 140 名います。追加で手続きしている生徒も数名おり、今後も進路変更の状況によって追加で申し込む生徒もでてくると思っています。今年度から就職については複数応募制という制度が新しくスタートしました。2 年ぶりに企業訪問に行き、情報を集約しているところですが、指定校求人以外は複数応募可で求人をいただくようになるのではないかと予想しています。チャンスが広がる一方、競争率が高くなるといった注意点もありますので、生徒たちへは丁寧に説明をしていくつもりです。

(9) 保健部より生徒状況について【保健部長】

集団の中で学ぶことはたくさんあると思っていますが、中学時代から学校に行かずにリモートで課題さえ提出しとけばいい、みたいな感じのことに慣れてきてしまって、学校に行く価値や意義を見出せない生徒もいるのかな、というふうに感じたりしています。あと、保健部としては感染防止対

策として、マスクがある程度効果があるのはわかっていますが、外せなくなってしまうのが、少し怖いと個人的には思っています。やはり子供にとって人の顔をみながら会話をし、集団活動をするということは大切なことだと思っています。外せる機会をできるだけ作ってあげたいと思っています。

5. 協議 本校のミッション等について（司会進行：会長）

会長：この度、高校においてもミッションやポリシーを改めて策定することになったことを受け、今日は委員の皆さまからも堺上高校に今後期待されること、どうなって欲しいか、ご意見をいただけたらと思います。

副会長：高校入学当時は自分の進路についてはまだ決めきれていません。途中で進路変更する子供もいます。そんな中、堺上高校は個々の生徒の伴走者のような形で子どもと寄り添って進路指導してもらえる学校だと認識しています。先生にも一緒に走ってもらって最後のゴールまで行きつく、そんな学校であってほしいと思います。あと、中学生は公立高校がどのようなことをしているのか意外と知りません。私学の高校は中学校にバンバン来校され、パンフレットもこれでもかというくらい届きます。塾に対しても同じように広報活動をされています。私学が先行しているので、オープンスクールをはじめ情報発信については是非ともよろしくお願いします。

会長：ありがとうございます。今の堺上高校の生徒の多様な進路に対応した指導、就職も進学もというのが特徴になっているのではないかとのことですね。堺上は全体のバランスを考えて、先生方いろんな形で指導できているということですね。

委員：以前から、堺上高杯を通じて地域との連携を取られています。今の若い子、学生さんもそうですね。コミュニケーションを取るのが苦手な方が意外と多いというのが実感です。地域とのコミュニケーションをベースに、学生さんの人格形成に携わるようなことをしていってもらえればと思います。今やっておられることをもう少し広げていくのもいいのかなと思います。あと現在の活動を堺市の広報とかに紹介してみるのもいいのではないのでしょうか。

委員：堺上高校については出口のところに特徴が出ていると思いました。初めの報告の中で様々な進路があるよというのがこの高校の強みだと思いました。バラエティーに富んだ就職先、進路先を選べるようなカリキュラムと体制が取れているのがこの高校の強みであり特色だと思ったんで、そのあたりを言葉にしてもらいたいのではないかなと思いました。蒔蕪を作って消費者や卸先を通して売ることさせてもらっていますが、うちの会社も企業理念を一から作っていきました。「伝統と創造」「笑顔溢れる人生に貢献する」がうちの企業理念なんですね。なぜ支持されているのか、強みってなになのか、というところから言葉にしていきました。会社と学校は違うかもしれないですけど、「これでいくんや」って思える言葉にいろんな人の意見を聞きながら磨いていって作られていくとよいのではないかなと思います。

委員：うちには堺上の卒業生がいて、今楽しく通っている在校生がいて、来年受けたいなって言ってる子どもいます。僕からしたらそういう学校なんだなと思います。だから、今やっておられることは間違っていないと思います。

会長：学校経営計画に掲げておられる「入学してよかったと思える学校、保護者に入学させてよかったと思える学校、卒業して素晴らしい母校と思える学校、地域の方々に一緒に頑張ろうと思ってもらえる学校」とはどんな学校かということを、委員の皆さんが違う形で言ってくれていると思います。入学してくる生徒一人ひとりの特徴を活かして、それぞれの部署で先生方が指導しているからだだと思います。校長先生をはじめ先生方の努力があつてのことだと思います。学校の授業見せてもらっても生徒が元気で生き生きしています。皆さんのご意見からも、現在されている教育活動を進められたらよいかなということだと思います。

6. 閉会の挨拶【校長】

生徒一人ひとりに寄り添って走ってもらえる学校があつてほしいと言ってくださったこと、出口に特徴があるのではないかと行って下さったこと、本当に貴重なご意見を頂戴しました。本校のような進路

状況の学校は意外と多くありません。生徒自身が納得して進路を決めていくことができるよう、これからも子どもたちに寄り添いながら教育活動を進めてまいります。これまでの取組みを振り返りつつ、今日いただいたご意見を参考にさせていただきながら、堺上高校のミッションやポリシーに落とし込んでいきたいと思ひます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。